

森あやこ

Ayako Mori

発行:福岡市議会議員

森あやこ

ニュース

2023年 NO.33 夏号



[6月議会 一般質問]

人も猫も暮らしやすい

いのち育むまちづくりのために！



🐱猫が好きな方も苦手な方も双方に暮らしやすいまちづくりを！

人と猫の共生を願い、全国で多くの方々や民間団体が野良猫の保護や譲渡などのボランティア活動をされていますが、高齢化や疲弊する例もあり、公的な支援がもっと必要です。猫が苦手な方や嫌な思いをしたくない方ほど、しっかりとした取り組みを望まれているのではないのでしょうか？

🌱地域猫・保護猫活動の充実を！～今年度から野良猫の不妊去勢手術に補助が出ます～

譲渡できない（特に子猫）現状があります。市の動物愛護センターでは、猫たちのいのちを絶たずに繋ぐための譲渡会や地域猫活動に取り組む地域への説明を行っています。無償の野良猫の不妊去勢手術、活動状況の確認や助言等の支援の成果はありますが、地域の理解や活動者の確保などの課題はまだ続きます。

💖いのちを繋ぐ、尊厳を学ぶ取り組みを！

猫たちは好きでそこにいるのではなく、人間の都合で捨てられ野良猫になり、風雨や暑さ寒さ、事故や病気など過酷な環境で必死に生きています。市民の方の地道な成功例や東区の私立立花高校が「命のつなぎ方」授業の一環で、犬猫のいのちを救うために生徒たちが保護猫活動をしている例をあげながら質問をしました。地域社会全体が、いのちの尊厳を重視する一歩進んだ取り組みになるよう要望しました！

～市民ボランティアの方の事例を紹介し、社会問題解決に繋ぐ～

“ホームレス、野良猫、空き家” 課題を融合し解決し柔軟な取り組みを！

十数年前、ホームレスの方々が過ごす公園に数十匹の野良猫がいて、見かねた市民の方が野良猫の不妊去勢手術を開始し、その後クラウドファンディングと借金してまで空き家を買われ、ホームレスで生活保護につながった方も、共に保護猫活動を続けられています。市の空き家等対策計画の中に「空き家の多様な活用方策の検討・実施」があり、実例をもとに行政が旗を振り、地域の中で市民も企業も行政も協働で尊いいのちを大切に考えながら、生きる力を共に育めるまちづくりとなることを求めました。※保護猫活動されている不動産業もあります。

6月議会 森あやこ一般質問（市議会録画）→



「女性議員と語ろう！ もっと政治を身近に！」

議員になったきっかけ、議員になって良かったことや困ったことなど質問に答え、抱負などをお話させて頂きました。

「生活って政治」です！

北欧などは幸福度が高く女性議員が多くいます。お金（税金）の使い途は人のいのちに関わる重要なこと。女性ならではの視点で、市民と共に進められるまちづくりを願い、参加された方々と語り合いました。7/9 東箱崎公民館にて、東区女性議員3名参加

